

## eyeSegment 最新情報

OTだけでなく、IT/OT一体的なセグメンテーションに対応  
繊細なOTデバイス環境やIT/OT融合環境における業務中断の必要がないゼロトラスト・セグメンテーション

医療システム環境への対応  
繊細な医療機器にも対応する業務中断の必要がないゼロトラスト・セグメンテーション

ハイブリッドクラウド対応  
AWS環境の東西/南北方向セグメンテーション

多部門による協業を推進  
IT、OT、臨床技術その他の業務部門にまたがるコラボレーションワークフローの拡充により、セグメンテーションの導入を拡大

## あらゆる場所の、あらゆるデバイスに対応するシンプルなゼロトラスト・セグメンテーション

広範囲で多岐にわたる今日のユースケースを取り込んだ[エンタープライズ環境全体のセグメンテーション](#)には、コンテキスト中心型の多層構造アプローチが必要です。当社の[eyeSegment](#) 最新リリース3.0は、この要件を実現する最適なソリューションです。IT、IoT、IoMT、OT（オペレーショナルテクノロジー）デバイスの大規模環境全体で、圧倒的にシンプルなゼロトラスト・セグメンテーションを実現します。業務中断の必要がない独自アプローチにより、業務への支障を最小限に抑えつつ、スピーディーなゼロトラスト化を促進し、脅威へのエクスポージャーと侵害による影響を低減します。

### OT環境、IT/OT融合環境におけるセグメンテーション

最新のeyeSegmentは、eyeInspect（旧SilentDefense™）との連携により、IT/OT融合環境およびOTネットワークスタック上でのセグメンテーションを簡略化し、リスクを低減します。eyeSegmentは、以下を支援します。

- ディープパケットインスペクション(DPI)ベースの技術を活用し、OT資産や産業用制御システム(ICS)資産の「最新状態」と通信パターンをリアルタイムで、瞬時に把握
- 統合ポリシーの作成により、IT/OT融合環境のリスクに対処し、相互接続ドメイン全体で脅威となる水平移動を防止
- 監視・対応モードで運用可能な、きめ細かいセグメンテーションポリシーで、OT/ICS環境でのサイバーリスクおよび侵害発生確率を抑制し、重要な業務プロセスの中断を防止
- 継続的監視によるセグメンテーションアシュアランスおよび違反ゾーンの把握
- 既存ネットワークインフラへの投資を有効活用し、セグメンテーションを自動実施

## 医療システム環境におけるセグメンテーション

最新版eyeSegmentはMedigateと統合されているため、医療システムネットワークに接続する従来型のIT/IoTデバイスのほか、医療機器や臨床設備のセグメンテーションを簡略化できます。さらに、医療機関の皆様以下に以下の機能を提供します。

- 医療システムの通信プロトコルに対応するディープパケットインスペクション(DPI)ベースの技術で、あらゆるIP接続デバイスおよび通信パターンの「最新状態」を瞬時に把握
- デバイスの臨床コンテキストに関する豊富な情報で、コンプライアンス/ゾーニング要件に対応
- 医療システム環境のあらゆるデバイスタイプに関するセグメンテーションの統合ポリシーを作成し、攻撃対象領域を縮小し、指定されたゾーン全体での脅威拡散を防止
- 脆弱性や技術の陳腐化によりパッチが適用できない、または定期保守が必要となる医療機器をセグメント化してリスクを緩和

## ハイブリッドクラウド環境におけるセグメンテーション

機能強化された最新版eyeSegmentでは、統合ポリシーをもとにドメイン横断的、データセンター/クラウド横断的なセグメンテーションを実施できます。また、AWSクラウド環境内/クラウド環境間でのセグメンテーション・ハイジーン(衛生状態)を継続的に保証します。主な新機能は以下のとおりです。

- 統合されたデバイス相関マップ・可視化 (AWS環境内および、他のクラウド環境との東西/南北方向の通信パターンなど)
- 各種資産の依存性マップによるクラウド移行支援
- インテリジェンスをもとに、外部ネットワーク(インターネットその他)の適切なセグメント化を常時保証

## IT部門と他部門とのコラボレーション

ワークフロー機能の強化により、チーム横断的コラボレーションを効率化し、拡張エンタープライズ環境全体でのセグメンテーション実施ポリシーの設計・デプロイに関するリスクと運用コストを効果的に低減できます。主な新機能は以下のとおりです。

## ベースライントラフィック・フィルタリング機能の強化

最新版eyeSegmentでは従来の検索条件に加え、以下の条件でもフィルター検索できます。

- 日付範囲の指定
- Forescout eyeSightのセグメント
- IPアドレス
- eyeInspectとMedigateが対象環境で検出した内容をもとに、動的に学習した検査済プロトコル

## エクスポート機能の強化

最大10万件のレコードをCSVファイルにエクスポートできます。個別トラフィックパターンの詳細コンテキスト(送信元IP/宛先IPなど)を表示するエレメントも追加可能です。

上記を含むeyeSegment新機能の詳細については、[eyeSegment 3.0 Release Note](#)をご参照ください。

Don't just see it.  
Secure it.™

EoT(Enterprise of Things)のアクティブ防御  
を支援します。今すぐお問い合わせください。

[forescout.com/platform/eyeSegment](https://forescout.com/platform/eyeSegment)

[japan-sales@forescout.com](mailto:japan-sales@forescout.com)

電話番号: 81 50-1746-6455